



連合会は環境、安全、福祉、地域交流をテーマに活動しています。

(構成)
自治会：北の台第二、北の台第四、香風、
栄、さつき会、深大寺東、
深大寺東第一、野ヶ谷第二団地
団 体：なかま・町づくり、タスクネット東京、
東町ガーデン、エンピツ広場、
住みやすい野ヶ谷の会、
子ども食堂深大寺東町

地元を少しでも、安全で暮らし易くするために・・・😊

多くの充電式の小型家電（モバイルバッテリー・ハンディ扇風機・電動歯ブラシ・加熱式たばこ等）には、リチウムイオン電池が使用されています。リチウムイオン電池は、過度な力がかかると激しく発熱・発火するため、誤って可燃ごみやプラスチックに混入させてしまうと、清掃車や処理施設等の火災事故につながります。

子どもたちの通学路“スクールゾーン”で安全確保を

1月13日（土）、北ノ台まちづくりネットワーク（地区協）運営委員会では、北ノ台小学校校長から子ども通学時の安全確保でスクールゾーンの必要性（課題）についてお話をされました。連合会も北小にスクールゾーンが未だ指定できていない事について、他校（第一、深大寺、上の原）同様に設置が必要として意見を述べました。



通学路での事故（北町）



第一小のスクールゾーン



深大寺小のスクールゾーン

年明け1月15日、北小通学路安全会議（小学校、PTA、連合会および交通ボランティア）を開き、小学校を取り巻く安全を課題に話し合いをしました。当連合会からは教育委員会や警察署との聞き取り情報を紹介、PTA特別委員会からは昨年実施されたアンケート調査について内容説明がされた。

連合会から「教育委員会」と「警察署」の反応を紹介

地域会合の場で学校長より、スクールゾーンの必要性について言及された事は大きいとの評価。

また、警察署による三鷹通り野ヶ谷団地西交差点交通取締りが毎月1回、定期実施されている実績報告。（野ヶ谷通りへ車両進入禁止）

「特別委員会」からPTA内アンケート調査の紹介

①交通安全や防犯で子どもたちを心配に思う事がありますか？

⇒ 約9割近くの方が、心配と回答。

②子どもたちの安全のためにどのような対策が必要ですか？

⇒ 下校時の見守り、スクールゾーンの設置、朝の登校見守り、交通取締りの徹底、道路の拡幅整備など。

北部地域で見守り タスクネット東京の青色防犯パトロール



パトロールでは小学校、公園を含め地域を回り、外灯切れやごみ投棄、放置自転車などを確認した場合は通報。

2023年活動（青色防犯パトロール、地域イベント見守り、ランチ駐留見守り）											2024.1.31
回数	内容		時間H	距離km	参加人数	街灯切れ			記事		
	地域	ランチ				東町	北町	他		計	
1月	6	3	3:15	38	6	1	1	2	放置自転車		
2月	5	5	4:20	48	10	2	2	4			
3月	7	4	2	4:00	44	8	1	3	通学路安全検証立会い		
4月	5	2	3	11:30	28	7	2	1	3		
5月	6	2	4	16:30	20	9			0	子ども食堂、ランチ調布1周年	
6月	5	3	2	6:10	26	7			0		
7月	8	2	4	20:00	24	11	2		2	ごみ捨て	
8月	5	4	1	4:00	44	9	2	1	3	近隣他校スクールゾーン見守り	
9月	5	2	3	13:30	24	8	2	1	1	4	BRANCH調布フェス
10月	8	2	6	11:35	24	12	2	1	3	児童館まつり、梅の湯コンサート	
11月	5	2	2	13:15	21	7		1	2	3	路面速度表示不良
12月	4	4		4:00	45	8	4			4	自発光点滅器不良、放置自転車
	69			112:05	386	102	18	3	11	32	

CDC事業 深大寺ラボ 2月末で終了！



令和3年度より、「つながり創出による高齢者の健康推進」として調布市・電気通信大学・アフラックが共同事業として開設。これが2月28日(水)で営業終了となる。最終日には「お別れ会」も予定。

電気通信大学とNPO法人で来年度から新たな運営を図ると発表されるも、詳細な発表が間に合っでなく、ラボ利用者には不安の声も聞かれる。これまでPC、スマホの指導でスタッフ3人の対応が好評であったことから、次の運営について一日も早い情報開示を願うものです。

ランチ調布 ～地域コミュニティを育み地域課題に臨む～

大和リース(株)は、内閣府が主管する官民連携プラットフォーム事業に、調布市との連携事業としてBRANCH調布の事例を申請された。

「事業名:地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」

調布市、大和リース他、施設運営に携わる協議会にはテナント各社と共に地域3団体として、ふじみ地区自治会等連合会、北ノ台まちづくりネットワーク、調布市北部地区まちづくり推進準備会が参加している。



申請では大和リース担当者のコメントとして、「調布市クリーンセンター跡地が有効活用され、民間企業のノウハウを活かし地域課題の解決や地域コミュニティの創出に繋がりが大変良かった。今後も地域住民に寄り添い、地域に愛される施設を目指して参ります」と、記載されています。

1月ミニ講座

①三鷹通りJAXA沿い歩道、 ②北部地域デマンド交通実証実験の現状と今後

令和6年最初のミニ講座は1月19日、都市整備部より講師を招き開催しました。

①東八道路及び三鷹通り歩道沿いの桜について

JAXAより東八道路及び三鷹通り歩道沿いの桜について、樹木医による診断の結果、殆どの樹木が倒木の危険性の高い状態にあるとの報告を受けた。JAXAは来年度中に危険な樹木は伐採することを検討中である。伐採が実施された場合、擁壁部以外のほぼ全長にわたりゆとり空間を拡張することが可能になるので、現在調布市はゆとり空間を延長すべく、関係者との調整及び設計費などの予算化を検討中である。一方擁壁部についてはJAXAの所有物であることが確認された。今後、歩道の拡幅(擁壁の後退)を行った場合送電鉄塔の基礎部分への影響を調査することになる。また南端隅の市道部分の拡幅も合わせ検討するとの説明。これに以下の質疑となる。

- 三鷹通り全体の拡張計画はどうなっているか。
⇒計画はあるものの事業計画のない状態。
但し、渋滞を防ぐ東八や甲州街道等交差点拡幅は実施済み。
- ニトリ出店による道路の混雑対策は？
⇒現時点で出店に関する具体的な計画はない。
三鷹市と共同で当たる必要あり。
- 次のゆとり空間延長工事では、現在の奥行よりも広くしてほしい(要望)
- 三鷹通り三鷹行き航研前バス停が暗いので改善を望む(要望)



②デマンド交通実証実験について

- 現在まで、一日平均の乗車人数は約3人。
- 乗車料金が三鷹市に比べ高いとの批判が受けているが、タクシーに比べれば半額以下であり、業者への影響も考慮する必要がある。
- 現在の計画は3月末で終了としているが、来年度も継続するよう準備中である。
- 乗降ポイントの増加を申請に向け準備中で、承認後周知資料を充実する。



これに対し、スマホの使い方を中心に周知方法が不十分との意見が集中、乗降ポイントを示す携帯用資料の整備やスマホ使い方のより懇切な指導(特に高齢者への深大寺デジタルリビングラボでのスマホ指導)、受付電話の利用案内で改善等要望があった。